

# PHOTO PALETTE



8月5～6日、長柄公民館の農家ホームステイ「ぼくたちのおうら」が行われました。参加したのは、中野小学校6年生の井上侑砂さんと中里友莉香さん、長谷川拓生さんです。関口助之さん(洗沼・19区)のお宅には長谷川さん、新井信明さん(寺中・26区)のお宅には井上さん、中里さんが、それぞれホームステイ。子どもたちは、この体験を通して農業の大切さと、農家の大変さを知ることができました。



うれしい、楽しい  
ホームステイで農業体験

## 明るい未来のために



8月4日、役場議場で子ども広聴会が行われました。広聴会には、邑楽中学校と邑楽南中学校の生徒15人が参加。邑楽中学校2年生の斉藤らさんは、「町の予算や行事などが分かって勉強になりました。町長さんに自分の意見が言えたことは、いい経験になりました」と話してくれました。

## ぜったい返してみせよう！



8月10日、中野小学校体育館でジュニアバドミントン教室が行われました。参加した吉永和起さん(明野・34区)は、「初めて、バドミントンをしました。ふだんサッカーをしています、ほかのスポーツもやっていたと思い参加しました。とても楽しかったです」と話していました。

## 借りたら大切に読んでね



8月6日、町立図書館で一日図書館員が行われました。この日体験したのは、中野小学校6年生の中繁美紅さんと野村真璃さん。中繁さんは、「カウンターで本の貸し出しをするのは、楽しかったです。図書館の裏側の仕事を体験することができて、勉強になりました」と話していました。

## 町の歴史 連載三百四十六回 町の年代記 48

細谷清吉(歴史研究家)

細谷右馬助秀国(十五) 小泉富岡城に属して、生涯を戦乱に明け暮れた細谷右馬助義重は、正三年(一五七五)に死去しました。法号は「黙翁、良庵居士」。五位堂墓地に葬られました。義重の子、義長が家督を継ぎ、小泉城富岡氏の家將となりました。 義長は右馬助を襲名して九代細谷右馬助となります。時の小泉城主は五代の富岡秀高で、天正十二年(一五八四)秋から翌十三年春にかけて金山城主由良国繁とその弟の足利城主兼館林城主の長尾顕長は小田原城主北条氏直に屈服し

ています。そのため国繁は桐生城へ、顕長は足利城へ退きました。北条氏直は金山城と館林城を配下の武将たちに守らせました。新田・足利・館林にかけての一派は後北条氏(小田原北条氏)の支配下になります。小泉城だけは、かねてから後北条氏に属して懸命に尽力していたので、氏直は小泉対馬入道秀高に対して北条氏直の印判状を発給して、隠居分二千石の地、金山領浜田郷を与えています。 その印判状には「近年、新田・館林との境目にあり、昼夜の走り廻り感に候。よって隠居分出として二千石の地、新田・館林城領の中より出し置き候。知行さしむべく候。郷名は重ねて仰せ出さきものなり」

て式百貫文。この度新田領浜田郷より出し置き候。知行せしむべきものなり」とあります。秀高に代わって六代城主となった富岡秀長を金山三番衆に命じています。 このように小田原の後北条氏は関東一円を手中におさめ、東毛地方金山・館林城を小泉富岡氏にまかせたので、小泉城は後北条氏の中心基地の一つとなりました。 しかし、それも豊臣秀吉の小田原征伐により、天正十八年(一五九〇)七月、小田原城は落城し後北条氏は滅ぼされました。これより先、五月には小泉城が秀吉の家臣に開城し、金山城も前田利家らに接收されました。小泉城開城により、篠塚の細谷館など、館の人々は帰農となりました。



帰農して廃された細谷館跡